

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～技術・家庭（技術分野）～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	<p>(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成</p> <p>(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性</p> <p>(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資質・能力をバランスよく育むために、どのような構成になっているか。 ・ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、どのような構成・配列上の特徴があるか。 ・ 中学校で初めて学習する内容として、小学校までの学習内容との関連をどのように扱っているか。 ・ 他教科等の学習内容と相互の関連を図るために、どのように扱われ、分量はどのようなようであるか。 ・ 教科内の学習内容の系統性・発展性を意識しながら学習を進めるために、構成・配列上どのような特徴があるか。 ・ 問題を見いだして課題を設定し、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す一連の学習過程がどのように位置付けられているか。 ・ 学びを深めるための学習活動や資料として、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。 	<p>(1) 中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養</p> <p>(2) 中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること</p> <p>(3) 中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること</p>
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	<p>(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</p> <p>(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価</p> <p>(3) ICTを活用した学習活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の興味・関心を喚起し、学習を広げるため、一人一人に応じた学習課題はどのように扱われているか。 ・ 異なる考えを組み合わせるよりよい学びを生み出すため、他者との協働はどのように扱われているか。 ・ どのような学習の進め方や学び方が取り上げられ、程度や分量はどのようなようであるか。 ・ 自ら学習に取り組む上で、理解度を高めるためにどのような工夫があるか。 ・ 小学校プログラミング教育の学習内容と関連した、双方向のコンテンツのプログラム、計測制御のプログラムの例示内容とその分量等はどのようなようであるか。 ・ 二次元コードは、いくつ掲載されているか。 	<p>第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） 施策Ⅱ「未来を創る確かな学力と実践力」の育成</p> <p>(1) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26）</p> <p>(2) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26）</p> <p>(3) Ⅱ-9 ICTを活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）</p>
3 印刷・製本等	<p>(1) 教科書の厚み、重量</p> <p>(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等</p> <p>(3) 上記以外の使用上の便宜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の大きさ、重量、ページ数はどのようなようであるか。 ・ 障がいやその他の特性の有無にかかわらず、活用しやすいものになっているか。また、写真の印刷状況はどうか。 ・ 目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。 	